

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市西部コミュニティセンター及び交楽園	所管課	市民協働推進課
所在地	岐阜市下鵜飼一丁目105番地		
指定管理者名	岐阜市西部コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	16,632,000円(平成24年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 3,780㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,239.77㎡ 防災会議室、集会室、教養娯楽室、生活相談室、大集会室、小会議室、料理教室、テレビ室、駐車場 岐阜市西部図書室(併設施設)、岐阜市西部ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数(単位:人)		21,536	24,770	23,031	28,123	26,888
各室稼働状況(%)	防災会議室	74.4	72.9	76.7	74.3	67.1
	集会室	38.2	39.3	38.6	36.0	36.7
	教養娯楽室	26.5	32.7	34.4	39.7	39.3
	生活相談室	19.9	26.7	19.1	20.4	22.3
	大集会室	44.4	51.9	39.5	47.2	43.3
	小会議室	23.5	23.8	25.5	27.2	27.2
	料理教室	8.3	10.8	8.3	11.4	9.8

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③コミセンだよりを発行し、構成地域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①自主防災研修会(7月) ②夏休み親子ふれあい教室(7月) ③各国の家庭料理教室(9月) ④消防防災訓練(10月、3月) ⑤コミセンまつり(3月) ⑥コミセンだよりの発行(8月)	①7/6に実施、30名参加。 ②8/31に実施、親子44名参加。 ③下半期に実施。 ④下半期に実施。 ⑤下半期に実施。 ⑥1,200部発行、構成地域の自治会各班回覧。
施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年4回) ②し尿浄化槽保守(年52回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定検査 ①下半期に実施。 定期点検 ①6/6、9/4実施。 ②毎週火曜日に実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき実施されている。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回防災訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年8月1日～8月31日に実施
利用者アンケートの実施結果	◎ 利用した部屋は 防災会議室 28.3%、集会室 15.2%、教養娯楽室 8.7%、生活相談室 4.3%、大集会室 8.7%、小会議室 10.9%、料理教室 2.2%、併設施設ほか 21.7% ◎ スタッフの対応について 満足 50.0%、ほぼ満足 13.0%、ふつう 32.6%、やや不満 2.2%、不満 2.2% ◎ 施設や設備の管理状況について 満足 52.2%、ほぼ満足 8.7%、ふつう 34.8%、やや不満 4.3%、不満 0.0% ◎ 全体的な満足度について 満足 56.5%、ほぼ満足 10.9%、ふつう 28.2%、やや不満 2.2%、不満 2.2% ◎ 性別 男性 28.3%、女性 71.7% ◎ 年代 20歳未満 19.6%、20代 0.0%、30代 4.3%、40代 10.9%、50代 4.3%、60代 32.7%、70歳以上 28.2%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・集会室の机が壊れた所が多々ある。 →点検し対応します。 ・料理室のボールの色がはがれるのが、衛生上気になる。 ・料理室のゴムベラをすべて耐熱性のものに変えてほしい。 →購入予定です。 ・小会議室の窓の開閉、ロックがきつい。 →修繕できるか調査します。 ・スタッフの挨拶がなく、感じが悪い。 ・はきはきとしゃべってほしい。笑顔がなく冷たい。 →気持ちよく利用していただけるように心がけます。 ・図書室では、本を読むだけでなく、勉強もできるようにしてほしい。自主(自習?)もありにほしい。 →図書室の限られたスペースのこともあるため、現在の状態でご理解をお願いします。(図書室回答)

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市西部コミュニティセンターの運 営上の基本方針	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っている か	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されてい るか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものであ ること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動 の推進を行っていく上で方針と主な事 業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ 活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と 主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供され ているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅 力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法 及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に 対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策 (窓口対応、プロモーション、設備等 の整備など)	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されて いるか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	指定管理に関する経費の設定額の妥 当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構 造	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出な いようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要人材の配置と職能及び人材育成 の方策	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全 確保策、防止策、非常時の対応マ ニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態 に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われている か	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具 体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火 体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A

貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって事業推進ができる組織	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	S	S
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	コミセン利用者が安心、安全に利用できるよう常に職員で備品の点検、修繕や施設内の環境整備に努めた。更に利用状況を把握し、こまめに経費の節減に努めた。また、サークルへ会員の募集に機会を捉えPRに努めた結果、健康体操、ヨガ等への見学者や加入する人が多く見受けられるようになった。
前回までの意見の取組み状況	当センターで初めて生涯学習センター主催の「市民自主講座」が開催され講座終了後に、受講生に引き続きサークル活動として継続するよう調整した結果、現在も「オカリナ教室」として続けられている。また、利用者アンケートにより、利用者の目線に立ち施設の管理に一層の注意を払い、迅速に対応すると共にその結果を公表した。
今後の取組み	引き続き経費の節減に努め職員間で常に諸事情に共通理解を持ち安心、安全なコミセンとして利用されるよう職員間の研修を実施。更に新規のサークルが誕生するよう関係機関と調整し研究していきたい。

●所管課の意見

・利用状況については、前年同期に比べ、利用回数、利用者ともに減少している。 ・指定管理者の事業については、センターの機関紙「西部コミセンだより」を発行し、構成区域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介しているほか、夏休みに地域の親子を対象とした「親子ふれあい樹脂粘土教室」を実施するなど地域に密着した特色ある事業を実施している。 ・利用者の声を聞くため、8月の1ヶ月間アンケート調査を実施し、利用者の意見を取り入れ、利用者の目線に立った運営を行っており、評価できる。利用者からの苦情も特になく、要望等についても、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。 ・運営組織は、地域の自治会連合会の各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

・事故等はなく、施設の安全な管理がなされていると考えられる。 ・サークル活動などの紹介について、地域と連携して回覧板を活用するなど、広くPRに努められたい。 ・地域で高齢者が増える中、閉じこもり防止を図る観点から、特に男性の活動参加について積極的な啓発に努められたい。
--